

アメリカに住む人々の10人に1人が移民?!

アメリカ経済にとって、移民とは何か

～アメリカ経済と移民の関係性～

目的・予想

私達は、アメリカ合衆国の移民と経済には、どのような関係があるのか気になったため、調べることにした。そして、アメリカは、移民が多く人材も豊富であることがアメリカの経済を支えていると予想した。

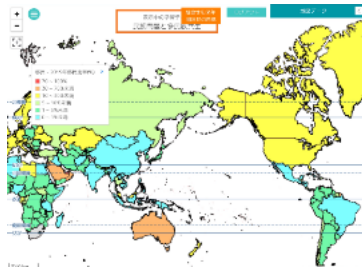
調査方法

私達は、アメリカ合衆国の移民と経済の関係を調べるために、インターネット検索をおこなった。また、「地図太郎」を利用し、アメリカの移民比率を調べた。

基本情報①

アメリカ合衆国がこれまでに受け入れた移民の数は、世界のどの国よりも多く、合計5,000万人を超え、現在も年間70万人近くを受け入れている。

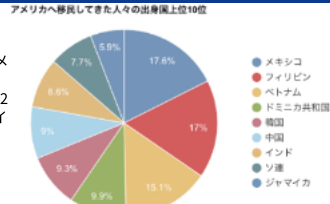
これまで、新たな移民は母国の慣習を捨て、アメリカ様式を身につけることが多かったが、最近では、多様性に価値が見出されるようになり、各民族がその伝統を尊重し、移民の子どもの多くがバイリンガルであることが多い。



基本情報②

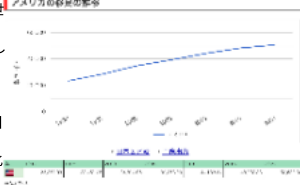
アメリカ合衆国、どこからの移民が多い?

1990年時点でアメリカへ移民してきた人々の出身国上位9カ国は、メキシコ (5万7,000人)、フィリピン (5万5,000人)、ベトナム (4万9,000人)、ドミニカ共和国 (3万2,000人)、韓国 (3万人)、中国 (2万9,000人)、インド (2万8,000人)、ソ連 (2万5,000人)、ジャマイカ (1万9,000人) となっている。



アメリカ合衆国の移民の推移

アメリカに移民する人は、年々増えている。その理由は、やはり世界に大きな影響力を持つ国であるからだといえる。日本のおよそ25倍 (世界3位) の国土面積、3億2000万人 (世界3位) の人口、およそ18兆6000億ドル (世界1位) のGDP、さらに広大な農地で作るとうもろこしや小麦の生産量が世界1位など、全てにおいてトップクラスである。なぜ、こんなにも移民が増加し続けているのか。それは、アメリカがヨーロッパからの移民によって18世紀に建国されたことが背景にある。それ以来、ヨーロッパをはじめ、アジアやアフリカなど、さまざまな国や地域からの移民が増え、多くの人が「アメリカ人」として暮らすようになった。こうした歴史的な背景から、アメリカでは、さまざまな文化を持つ人々が一つの国の中で生活しているため、多種多様なのである。



移民の国アメリカの光と影

アメリカが世界最大の移民受け入れ大国であることは、歴史的な事実である。この**自由な移民の流入が、経済成長の一つの原像**と言っても過言ではない。しかし、その一方で**トランプ大統領のような、移民に対する敵対的、排外的な主張をする人もいる**。この**反移民ポピュリズムあるいは、排外主義**といったものも同時に存在するのである。このように、両極端な特徴を持ち合わせているのが、「多移民の国、アメリカ」である。

アメリカ経済を支える移民

1. 安価な不熟練労働者

移民がいなくなったら都市機能は麻痺する。特にメキシコなどヒスパニック系移民が、サービス業や農業といった、アメリカ経済を支えている。また、アメリカの農業では、雇用労働者の50%から70%は正式な書類を持たない非合法な移民だともいわれる。「不法」とされる人々が送還されてしまえば、農産物総販売額は最大15%減少し、アメリカ国内の食料価格は5~6%上昇するといわれる。全てとは言わないが、**低賃金、安価な労働条件で働く移民がいるからこそ、アメリカ農業は国際競争力を維持している**ともいえる。仮に彼らがいなくなるとしたら、それはアメリカの消費者に跳ね返ってくる。

2. 中国・インド系高度人材

アメリカ経済成長の根源として登場したのが、科学技術の能力に長けた熟練労働者やITエンジニアである。中国からインドを中心としたアジア系移民が、高度人材と呼ばれる人達である。アメリカは戦後、移民政策を高度技能移民の積極的な受け入れ政策へと転換した。そこで急増したのがアジアからの移民であった。

アメリカ経済を支えるインド人

注目すべき点は、インドからの移民が、現在のアメリカ経済を大きく支えていることだ。インドが独立した際、当時のネルー首相は、輸入代替政策、国家による産業の育成、高等教育の重視、先進国から様々な技術移転を積極的に実施し、時間をかけてインド経済を成長させた。戦後、インドは高等教育を充実させてITエンジニアを育てていったのだが、その背景にはアメリカやイギリス、ドイツやソ連からの資金・技術援助があった。さらにアメリカの財団や企業は、インドに大学や研究所を作った。インド経済の成長の背景には、アメリカの産業も、大きな役割を果たしたという事実もおさえておきたい。

移民比率とトウモロコシの生産量を重ね合わせたデータ

移民を受け入れるメリット・デメリット

- 〈移民のメリット〉
- ・労働力の確保・人手不足の解消
 - ・グローバル化の促進
 - ・イノベーションの創出
 - ・人口増加による経済の活性化
 - ・多様性のある社会の実現

- 〈移民のデメリット〉
- ・文化や風習の違いによる誤解や偏見
 - ・治安の悪化や犯罪率の増加
 - ・保障や権利の問題
 - ・雇用を外国人労働者に奪われる

まとめ

今回、アメリカの移民と経済の関係性を調べて、移民の流入による直接的な経済効果は、労働力人口の増加であることを知った。また、インドからの移民が支えるアメリカ経済は、アメリカへの恩返しであることも分かった。さらに、現在のアメリカをみると、移民らはクリスマスなど、それぞれの母国の文化をアメリカに持ち込み、アメリカの地域社会をより豊かなものにしていくこともわかる。このように、多くの移民を受け入れることで、国はより豊かなものとなっていくのである。今は新型コロナウイルスなどの影響もあり、難しいかもしれないが、日本も、アメリカのこのような点を少し見習ってみてはどうだろうか。

今後の課題

移民の中には、不法入国や期限を過ぎた滞在をする人、不法移民がいる。不法入国が増えると、国同士の関係が悪化する原因になる。
『不法移民が陥る環境』
・移住国において保護や権利も認められない。
・貧困に陥る。
・犯罪に手を染めてしまう。
・母国に強制送還される。
また、合法的な移民であっても移住先の人たちや文化となじみず確執を生じまったり、言葉の問題や生活の困窮が原因が低賃金の労働を強いられる場合もある。
国際的に移民は増えているため、移民問題も増えていくと思われる。

参考文献

- ・ <http://www.eufd.org/seminar/tms27.html>
- ・ https://www2.nhk.or.jp/school/movie/outline.cgi?das_id=D0005120456_00000
- ・ <https://storymaps.arcgis.com/stories/8c6de8b528e94c28a756e2367ef7afa1>